1. 令和6年（2024年）10月15日午前10時
豊中市教育委員会会議を豊中市立郷土資料館講座室に招集する。

2. 本日の出席委員等

教 育 長	岩 元	義 継
教育長職務代理者	山 野	佳世子
委 員	赤 尾	勝 己
委 員	松 本	裕 美
委 員	堀 田	博 史
委 員	黒 田	久美子

3. 本日の議事日程

第1	議事録署名委員の指名について
第2	前回議事録の承認について
第3	教育長等の報告について
第4（議案第38号）	豊中市学校教育審議会委員の解嘱について
第5（議案第39号）	豊中市学校教育委員会の権限に属する事務の点検及び評価委員会委員の解嘱について
第6（議案第40号）	豊中市教育振興計画策定委員会委員の解嘱について
第7（議案第41号）	豊中市学校運営協議会委員の解嘱について
第8	その他

4. 本日の出席事務局職員

事 務 局 長	長 坂	吉 忠
教 育 政 策 監	中 尾	栄 一
理 事	堤	昌 子
次長兼教育総務課長	田 上	淳 也
次長兼社会教育課長	北 村	宣 雄
次長兼学校給食課長	勝 井	隆 文
次長兼教職員課長	森 山	幸 雄
教育総務課長補佐	松 村	有
教育総務課長補佐	大 森	紀 子

学務保健課長	中積	崇
学校施設管理課長	桑田	篤志
社会教育課主幹	久住	浩一
読書振興課長	西口	光夫
豊中市教育センター所長	森	真理子
学校教育課長	花山	司
学校教育課主幹	佐加	康彦
学校教育課主幹	亀田	悦郎
児童生徒課長	井上	倫子
学び育ち支援課長	松本	光真
学び育ち支援課主幹	津田	晋

5. 本日の書記

教育総務課総務係長	南	幸太
教育総務課主査	外園	博人
教育総務課事務職員	塩塚	明良

— 議 事 —

岩元教育長

ただいまから教育委員会会議を開催します。

まず、本日の会議の進行について、委員の皆様にお諮りします。

会議時間の短縮のため、本日の会議の進行については、議事日程の朗読や議案等の朗読は省略したいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

それでは、本日の教育委員会会議の進行につきましては、議事日程の朗読や議案の朗読は省略させていただきます。

本日の会議の成立要件をご報告ください。

南書記

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、教育長及び在任委員の過半数が出席されておりますので、本日の会議は有効に成立していることを報告いたします。

岩元教育長

本日の議事日程については、議案書の1ページに記載のとおりです。

山野委員

動議を提出いたします。

日程第4から日程第7までの4案件につきまして、人事行政の公正かつ適切な執行の確保とプライバシー保護を要する案件であることから、秘密会で審議をすることの動議を提出いたします。

また、このことに伴いまして、議事運営を効率的に行うため、日程第8の案件につきましては、日程第4から日程第7の4案件に先んじて行うよう変更動議を提出いたします。

岩元教育長

ただいま、山野委員より、日程第4から日程第7までの4案件につきまして秘密会で審議すること、また、議事運営を効率的に行うため、日程第8の案件につきましては、日程第4から日程第7までの4案件に先んじて行うよう変更動議が提出されましたが、この件についてご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

ご異議ございませんので、日程第4から日程第7までの4案件につきまして秘密会で審議すること、また、議事運営を効率的に行うため、変更動議のとおり議事順序を変更することを決定いたします。

それでは、秘密会に属する案件に関するものを除き、議案書等を閲覧用として傍聴人に配布してください。

(事務局より配布)

岩元教育長

日程第1・「議事録署名委員の指名」につきましては、今回は堀田委員と松本委員にお願いします。

日程第2・「前回議事録の承認」につきましては、既に会議録を委員の皆様方に配布しております。また、署名委員のご署名をいただいておりますので、原案のとおり承認することにご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

ご異議ございませんので、前回議事録の承認につきまして、原案のとおり承認することにいたします。

続きまして、日程第3・「教育長等の報告について」を議題といたします。

長坂事務局長

私から2点報告いたします。

まず、放課後の学習支援事業の開始についてです。

放課後の小学校及び義務教育学校内の余裕教室を利用し、小学5・6年生の児童が自学自習を進める中で、個々の学習状況に応じた支援を行うことにより、居場所の確保、学習習慣の定着、学習理解度の向上を目的に、市内全小学校及び義務教育学校前期課程にて、2学期が始まった8月下旬から実施しております。

実施期間は、水曜日の放課後からおおむね16時45分ごろまで、3月上旬まで月3回のペースで、1校あたり年間18回の開催を予定しており、民間事業者に運営を委託しております。

利用を希望する場合は、保護者から事業者へ直接申し込みを行っていただき、保護者が希望する場合には、学習支援の内容について事前に面談を行いました。

講師の配置は、各校の実施回ごとに、参加児童14名に対して指導者2人を基本とし、以降、7人増えるごとに1人の指導者を追加配置することとしております。

直近の申し込み状況は、9月24日時点で、小学5・6年生の在籍児童数の約9%にあたる686人の児童にお申し込みをいただいております。

次に、豊中市教育委員会公式「Xデー」の実施についてです。

令和5年1月より教育行政について広く迅速な情報発信を目的に開設し、主に社会教育関連を中心に配信しておりましたが、今年度から学校教育の現場についても発信するとともに、児童生徒や保護者の方々が「見たい」と思っていたいただけるような魅力的なコンテンツづくり及び配信方法について拡充を図り、より一層の情報発信の強化に努めてまいりました。10月1日から「Xデー」と称して、市立学校や公共施設を中心にポスター及びチラシの配布、市役所の情報発信コーナーでの特集ブースの設置などの取組みを行ってまいりました。

これらの取組みの結果、今年度当初約1,000人であったフォロワー数が現在1,600人を超えており、一定の成果を得ることができたことを報告いたします。

ちなみに「Xデー」実施後、配信内容で最も表示回数が多かったものを紹介させていただきますと、10月3日に配信しました「とよなか教育なんでも調査隊」による「教育長ってどんなお仕事？第2回目」で、内容は教育長へのインタビューになります。10月11日時点で約6,500件の表示回数となり、多くの方にご覧いただいている状況です。事務局では、今後も魅力ある情報発信に努めてまいります。

岩元教育長

ただいまの報告についてご質問、ご意見等ございますでしょうか。

赤尾委員

「教育長ってどんなお仕事？」へのインタビューは、どのような内容であったのか教えてください。

岩元教育長

3回シリーズで配信し、1回目は、私の仕事に密着され、庁内の会議であるとか学校視察の状況などを一緒に同行してもらい、その様子を配信させてもらいました。2回目は、私の、例えば「子どものとき何か部活をしていましたか」であるとか、「子どもたちに伝えたいことは」というような内容をインタビュー形式でさせていただき、3回目は、「豊中の教育がめざすもの」と題をいただき、そのことについて2分ぐらい話をさせていただきました。

岩元委員長

ほか、いかがでしょうか。

(ありませんの声あり)

岩元委員長

では、ほか特にないようですので、「教育長等の報告について」を終了することにいたします。

続きまして、日程第8・「その他」といたしまして、「第2期豊中市教育振興計画の中間見直し（追記）素案について」及び「小中一貫教育の推進に向けた基本的な考え方について」の2点を事務局より報告の上、意見交換を行います。

それでは、1点目の「第2期豊中市教育振興計画の中間見直し（追記）素案について」内容の説明をお願いします。

田上次長

「第2期豊中市教育振興計画中間見直し（追記）素案について」内容のご説明を申し上げます。

本件は、教育振興計画策定委員会を本年5月と9月に開催し、検討を進め、第2期豊中市教育振興計画中間見直し（追記）素案を取りまとめましたので、ご報告申し上げます。

資料につきましては、第2期豊中市教育振興計画中間見直し（追記）素案の1ページをご覧ください。

まず初めに、第2期豊中市教育振興計画の中間見直しにあたる今年度に見直しを行い、令和7年度から令和10年度までの4年間の取組みについて追記を行うものと記載しております。

次に、国や大阪府の動きについて記載をしております。

次の2ページには、豊中市の現状と今後の課題につきまして記載をしております。3ページをご覧ください。

「施策の追記」につきまして、教育振興計画の施策体系ごとに追記している箇所を示しております。なお、施策番号⑤「豊かな人間性の育成」及び4ページに記載の施策番号⑩「活動や交流ができる機会の充実」、施策番号⑰「地域での子育て環境づくり」につきましては、取組の追記はございません。

なお、5ページ以降には、各施策に対する「中間見直し以降の取組み」を記載しております。

この素案の今後の取り扱いにつきましては、豊中市意見公募手続に関する条例に基づき意見を募集し、その結果を受けて、年明けの第3回教育振興計画策定委員会にて答申をいただく予定にしております。なお、意見募集期間は11月中旬から3週間を予定しております。

岩元教育長

この第2期豊中市教育振興計画が令和3年度にスタートし、令和10年度までの8年間の計画で、今年が4年目、令和7年度以降に向けての中間見直しということで、その3、4年の間に、結構な社会情勢の変動、取り巻く環境の変化があると思いますので、そのような部分をこの計画に盛り込みながら中間見直しを行っていくことができるといった内容のものになっています。

ただいまの説明について何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

黒田委員

⑦に記載の男女平等教育啓発デジタル教材「With you」について、どのような教材なのか、教えていただきたいと思っております。

花山課長

この教材は、以前は紙の教材として小学校版と中学校版、2種類、小学4年生と中学1年生に配布していたものです。

数年たち社会情勢等も変わってきており、使われているデータ等も古くなっていること、更に1人1台のタブレット端末が子どもたちにも使えるということで、デジタル教材を一昨年度作成し、昨年度に配信したものです。

内容としましては、男女平等社会に向けてのさまざまなデータですとか、LGBTQについての考え方等、あと、デジタルになりましたので、紙教材のときは作ることのできなかつたショート動画等も掲載をし、学びを深められるような教材になっております。

黒田委員

その教材を授業の中で、必ず活用するカリキュラムになっているのでしょうか。

花山課長

基本的には、教科の学習の補助的な教材として活用できるようにしております。必ず使うということではなく、内容によってより深められるように、教職員が使えるようにしている教材です。

岩元教育長

次回以降で結構ですので、できればどのような教材か委員の皆さんに見てもらったほうがいいと思いますので、本日は無理ですが、次回以降、対応をお願いしたいと思います。

ほか、いかがでしょうか。

山野委員

同じページの⑦で「1人ひとりの状況に応じた最適な学びを支援するために、全校設置した通級指導教室を継続運用しながら、支援教育コーディネーターの育成を行って、支援体制のさらなる充実に取り組みます。」と記載がありますが、支援教育コーディネーターの育成をどのようにされるか、現状とか、課題、どのような方向性で育成をされるのか教えてください。

井上課長

支援教育コーディネーターにつきましては、3カ年の教育計画を児童生徒課で掲げておりまして、昨年度は、年間15回の研修で、基礎的な内容から中級レベルのものまで行っております。今年度につきましては、少しレベルアップしたもので10回の研修、さらに来年度は、回数は5回程度と考えていますが、上級編という形で実施し、3年間で支援教育コーディネーターを育成していくことを考えています。支援教育コーディネーターには、そこで学ばれたことを学校に持ち帰っていただいて、学校での周知にも努めていただいているところです。

山野委員

現状と課題について、教えてもらえますでしょうか。

井上課長

まず課題から申し上げますと、支援コーディネーターを含めたチーム学校というところで、支援コーディネーターが中心となって学校の支援教育についてリーダーシップをとっていただきたいところですが、これまで支援教育コーディネーターに対して集中的に教育をするということができていなかったもので、それを課題と考えてこの3カ年の計画を立てたところです。

教員の研修の座席配置も、中学校区単位などで配置することで、その学校だけではなくて地域間との連携も徐々にできるようになってきた状況です。

これからも小中一貫校が進んでいくこともありますし、地域として小学校から中学校までを見据えた支援教育のあり方を考えることができる広い視野を持った支援教育コーディネーターを育成していく中で、学校全体での支援教育のレベルの向上を図っていきたいと考えております。

山野委員

学校に1人おられるわけじゃないのですね。

岩元教育長

学校に1人はいます。

山野委員

そうすると通級など、いろいろな形で支援が必要な子どもたちが多くいるので、そのような一教員が役割を担っているわけですね。

岩元教育長

そうです。

山野委員

様々なケースがたくさんあるので、それを3カ年で、検証するということですね。

岩元教育長

全校設置して、これまで経験のない方が担当になられるというケースもあるので、回数も含めて、研修にかなり力を入れている状況があると思います。

全校設置する以前から通級を設置されていた学校もありますので、指導の経験が浅い方は、その先生にいろいろ助言をいただきながら対応を進めているようなところもあり、全体の底上げを図っていければと思っています。

堀田委員

5ページの③「乳幼児期から小学校生活への円滑な移行の推進」ですが。ここは、小学校教員が就学前施設に見学に行くということで、これは教育委員会サイドの範疇ではないかも知れませんが、幼稚園・保育所・こども園の先生方、保育士が、小学校に見学に行くというようなことも、非常に大切なことであると思います。ここの中の追記ではないと思いますが、ぜひ実現してほしいと思うのが一つと、小学校教員のすべてではありませんし、本当に一部の先生が行かれて。小学校に戻ってきてそれが研修として広められているのかということも、学校によって僕は様々であると認識はしているのですが。そのあたりが、もう少し。施設を見学した後の研修がこのような形で行われるべきであるとかということが少し明記されれば、より充実すると思います。

花山課長

ご指摘いただいた幼稚園・保育所・こども園の教員が小学校のほうへということは、ここには書かれていないのですが、豊中市内では、以前から、割と多くの学校でされてきています。主に小学1年生が入学した後に、卒園した子どもたちがどのような様

子かということも含めて、授業を見学に来ていただいて、子どもたちの様子を交流するということが、多くの小学校ではされてきておりまして。今もその取組みは続いております。

それから、小学校教員が就学前施設見学後に学校の中に広げているかということについては、まだまだ課題はあるかと思えます。一部の教員が見学をした後、小学1年生とか低学年の中では情報共有はしっかりとできているかと思うのですが、高学年であったり、全体で情報共有をしているということが、なかなかそういう機会がないと思われまますので、そういうことも含めて、研修の場とか情報共有の場というのを各学校でも広げていけるように、また助言をしていきたいと考えております。

赤尾委員

⑩の「家庭や地域の教育力向上の支援」についてですが、「家庭教育支援」ということが出ております。やはり家庭教育支援というと、総合行政的に取り組まないとならないので市長部局との関係が必要と考えますが、この中で、社会教育と市長部局との役割分担についてどうなっているのか、少しお聞かせ願いたいです。

井上課長

⑩に書かれております「家庭教育支援チーム」は、こども・教育総合相談窓口にかぶせているチーム名でございまして。社会教育のほうは、その前のページの⑭などに含まれるのかと思われまます。

⑩の「家庭教育支援チーム」におきましては、市長部局で言いますと、子ども支援課などと協力して、こども・教育総合相談窓口でもございますので、「ほっぺ」の家庭訪問であるとか、児童生徒課がやっております不登校である子どもを持たれる保護者の方への相談会であるとか、さまざまな幼児から児童生徒までに至る家庭での学習の機会の提供であるとか、アドバイスができる機会の提供というようなところにかぶせているチーム名でございまして、社会教育というところとは一線を画しているところがございます。

岩元教育長

成長の段階での様々な相談をしっかり受けとめて家庭支援していく、家庭の教育力を伸ばしていくという側面での取組みであると思えます。

ほか、いかがでしょうか。

(ありませんの声あり)

岩元教育長

ほか、ないようですので、2点目の「小中一貫教育の推進に向けた基本的な考え方について」内容の説明をお願いします。

花山課長

小中一貫教育の推進に向けた基本的な考え方についての報告をいたします。

来月11月11日に開催をする学校教育審議会にて、別添資料の「小中一貫教育推進の想定スケジュールの見直しについて」審議をすることを予定しております。

これらの資料は、令和4年12月14日の学校教育審議会において、庄内さくら学園開校後の豊中市の小中一貫教育の推進の進め方をわかりやすくお示しし、ご意見をいただくための参考資料として作成したものでございます。こちらは確定した計画ではございません。

令和5年5月に策定しました「小中一貫教育の推進に向けた基本的な考え方」をもとに、学校規模や分割校、施設の老朽化などの課題解消を図るべく、令和5年度から、地域や保護者の方々、当該校の教職員を対象に、想定スケジュール等について説明を行ってまいりましたが、第十二中学校区及び第四中学校区における再編案の一部の内容に対し、通学面での課題等についてご指摘やご意見をいただきました。

このような経過も踏まえ、小中一貫教育の推進に係る総合的な観点から、本想定スケジュールの内容の見直しを行いたいと考えております。

11月開催の第2回学校教育審議会においては、本資料の取り扱いについて、見直しの対象とすることや内容の見直しに関する周知方法などの審議を予定しております。

岩元教育長

この資料は、学校教育審議会の中で参考資料として提示したものでありますが、改めてその見直しについて少し議論していくという状況になっております。小中一貫教育に向け、どのような形で市全体として進めていくのか、教育委員会の内部でしっかり案をつくっていく必要があると考えているところです。

ただいまの説明について、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

(ありませんの声あり)

岩元教育長

特にないようですので、日程第 8 ・ 「その他」 についてを終了することにいたします。

以上で公開の会議は終わりました。傍聴人の方はご退席をお願いいたします。

(傍聴人の退席)